

**電源確保訓練**  
**(高圧応急用電源車による接続訓練)**  
**～原子炉建屋電源車接続口接続～**

---

**2021年11月**

**東北電力株式会社**  
**東通原子力発電所**

# 1. 電源確保訓練の実施概要

## (1) 電源確保訓練の目的（指標7該当訓練）

- 所内交流電源喪失時の電源確保の対応能力の向上を目的とする。
- 所内交流電源喪失時の発電所対策本部訓練と連携し、情報伝達能力の向上を目的とする。

## (2) 電源確保訓練のテーマ

### a. テーマ

可搬型代替交流電源設備（電源車）による所内電源確保

シナリオ情報  
のためマスクング

### b. 対応手順

電源車の接続および電源供給（原子炉建屋電源車接続口）接続手順

### c. 対応手段

原子炉建屋電源車接続口を使用した電源車による所内電源供給

## (3) 訓練実施日

2021年11月10日（水）

## (4) 訓練実施体制

対策本部連携者

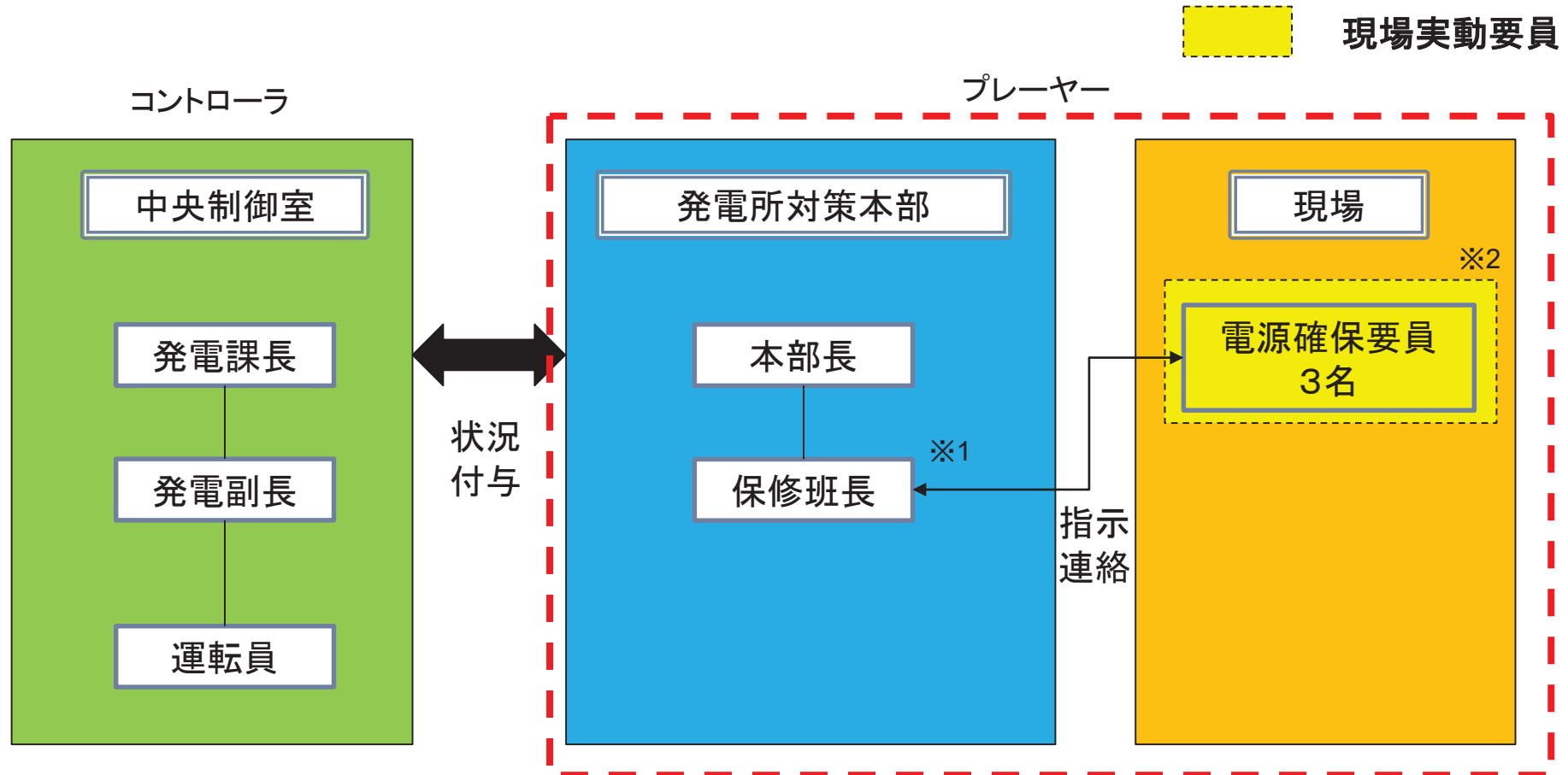
現場実動訓練者

現場実動訓練評価者

## (5) 訓練設定上の模擬範囲

電源車接続口は模式図を原子炉建屋壁面に貼り付けし、模擬  
発電管理班の操作および連絡は手順の確認のみ実施

## 2. 訓練体制図



※1

- ・電源復旧に係る全体指揮
- ・電気保修課との連絡
- ・所内電源の復旧状況確認
- ・電源車の接続状況確認

※2

- ・電源車運搬
- ・ケーブル接続他

### 3. 電源確保訓練の手順

---

シナリオ情報のためマスキング

#### 4. ①電源車接続場所(全体図)

機密事項のためマスキング

## 5. ②R/B西側電源車接続場所(詳細図)

機密事項のためマスキング

## 6. ③R/B北側電源車接続場所(詳細図)

機密事項のためマスキング

## 7. マルフアンクシヨンの目的と付与方法

---

シナリオ情報のためマスキング



## 8. マルフアンクションの内容と期待事項

---

シナリオ情報のためマスキング

## 9. 観察実施要領

---

### (1) 訓練観察体制

原子力規制庁殿：●名（現地防災専門官含む）

電力会社：評価1社（北海道電力）

：視察●社

新型コロナウイルス感染症対策として、現地防災専門官および評価者以外の見学者の受入は実施しない。事前に申し出があった電力会社に対して、訓練の様子を撮影したDVDを送付し、後日評価いただく。

撮影対象：高圧応急用電源車による接続訓練

### (2) 訓練観察資料

a.要素訓練（現場実動）実施要領〔発電所固有資料〕

訓練体制，訓練目標の観察に必要な基本情報の確認

b.要素訓練観察チェックシート〔発電所固有資料〕

c.手順書〔発電所固有資料〕

訓練設定上の模擬範囲

## 10. 評価項目及び評価方法

---

### (1) 評価項目

要素訓練全体（発電所対策本部及び現場実動）での共通的な評価項目

要素訓練テーマ（高圧応急用電源車による接続訓練）ごとの共通的な項目

発電所特有の手順に関する評価項目

※ 全評価項目の観察，評価を必須とするものではなく，観察できた項目の評価を行うものとして整理

### (2) 観察記録：評価の理由となる事実（Fact）

### (3) 良好事例，気づき事項，改善事項

良好事例：特に優れている項目。評価者が自社の改善につなげる事のできる項目

気づき事項：良否の判定に関係しない，何らかの気づいた事項

改善事項：改善の必要性（Factに基づく理由）および改善方法の提案（少なくとも方向性）

### (4) 評価結果等の反映

評価結果，良好事例，気づき事項および改善事項については，自社の改善計画プロセスに取り込み，反映を実施する。

必要に応じて改善事項を要素訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。